

わが町のふところ事情 平成26年度 決算報告

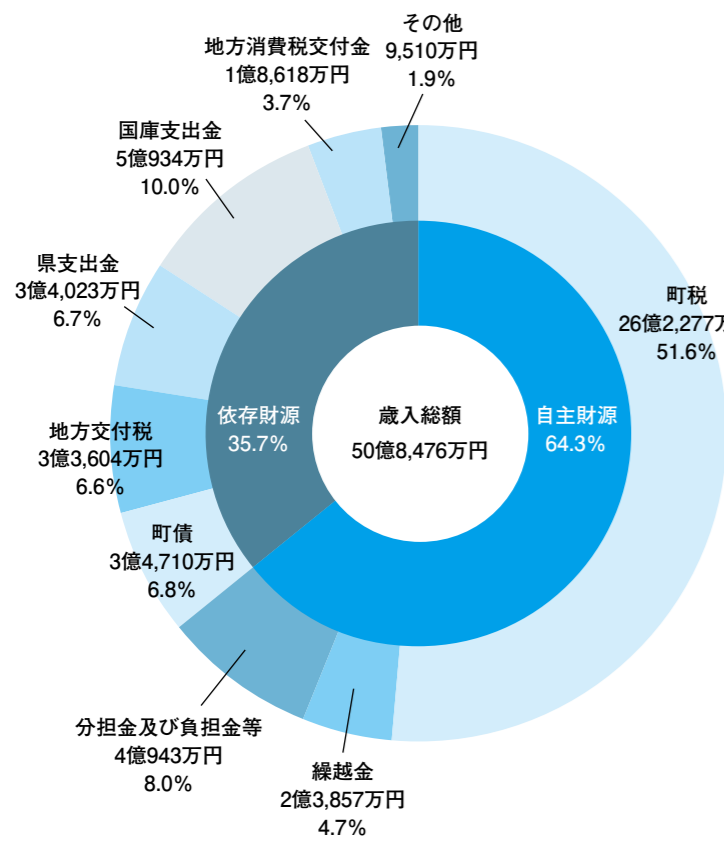
決算は、私たち町民が納めた税金が、どのように使われたかを示すものです。平成26年度の決算を町公式マスコットキャラクター「あじさいちゃん」と一緒に見ていきましょう。

問 財務課 ☎84-0322



平成26年度全会計の歳入合計は前年より0.3%減、歳出合計は前年より0.8%減でした。

一般会計 歳入



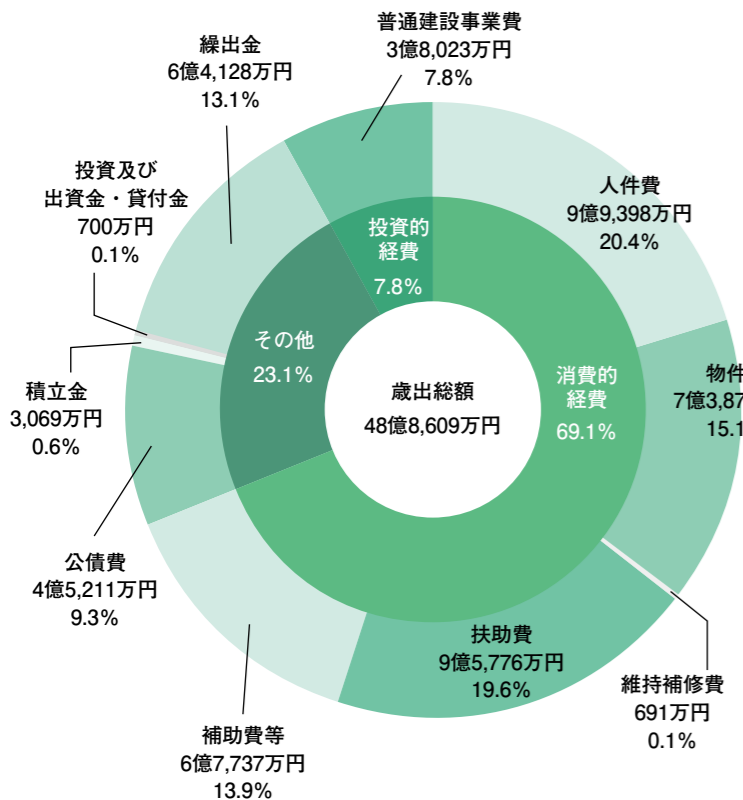
歳入決算額の主な増減内容としては、町民税が11億253万円、前年度比0.7%の増で、法人町民税の増収によるものです。固定資産税は13億7千673万円、前年度比0.2%の増で、町税全体では26億2千277万円、前年度比0.9%の増になりました。

そのほかの収入項目では、消費税の税率改正に伴い、地方消費税交付金が1億8千618万円、前年度比20.0%の増です。また、国庫支出金は5億934万円、前年度比20.8%の減で、地域の元気臨時交付金が皆減となったことなどにより、

用語解説 『歳入』

- 自主財源：町税や使用料、手数料、財産収入など直接町に入ってくるお金です。
- 依存財源：国や県の法令等によって定められた額を交付されたり、割り当てられたりするお金です。
- 地方交付税：国の基準に基づく行政サービスを行う場合の不足費用について、国から地方公共団体へ交付するお金です。
- 国庫支出金：国が指定する特定の事業に対して、国が負担や補助をするお金です。
- 県支出金：国や県が指定する特定の事業に対して、県が負担や補助をするお金です。
- 地方消費税交付金：消費税8%のうち1.7%が地方消費税で町の人口や事業所従業員数などを基に配分されます。

一般会計 歳出



歳出決算額の主な増減内容としては、性質別では投資的経費が、3億8千24万円、前年度比44.8%の減になりました。これは前年度中に中家村公園及び松ノ木河原公園の整備が完了したことなどにより、人件費は、9億9千398万円、前年度比10.2%の増となりましたが、職員退職者が集中したことなどによるものです。

扶助費は、9億5千776万円、前年度比6.3%の増で、子育て世帯臨時特例給付金などの増によるものです。

用語解説 『歳出』

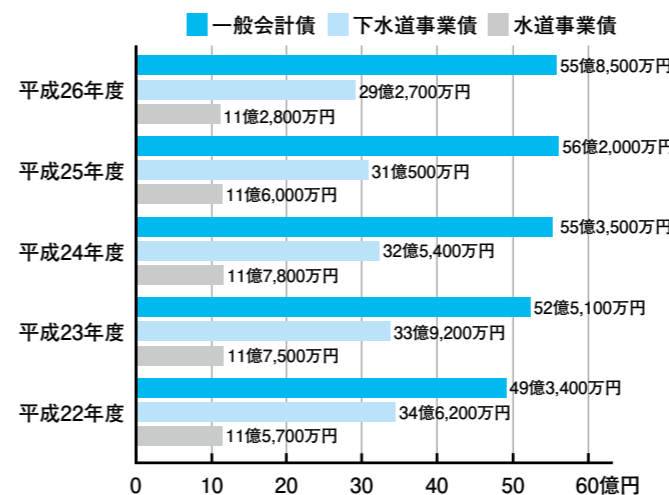
- 人件費：町長や町職員の給料、町議会議員や委員会委員の報酬です。
- 物件費：消耗品の購入費、通信費や公共施設の管理費などの経費です。
- 維持補修費：施設などの維持管理に必要な経費です。
- 扶助費：高齢者や乳幼児等の医療費助成や、児童手当の給付などの社会保障に必要な経費です。
- 補助費等：足柄西部清掃組合、小田原市消防本部などへの負担金や各種団体への補助金です。
- 公債費：町債（町の借金）の元本と利子の返済金です。
- 普通建設事業費：道路や公園、学校、町営住宅などの公共施設を建設する経費です。

町の予算・決算は、福祉や都市基盤の整備、教育など一般の行政事務にかかる歳入・歳出について計上する一般会計と、特定の事業を行うとき、その歳入・歳出を一般会計とは区分して経理するための特別会計があります。開成町には、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、介護保険事業特別会計、給食事業特別会計及び後期高齢者医療事業特別会計があります。また、公営企業会計として水道事業会計を設けています。

会計別決算内訳

区分	平成26年度			
	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	
1 一般会計	50億6,664万円	50億8,476万円	48億8,609万円	
2 特別会計	(1) 国民健康保険特別会計	16億5,759万円	16億7,300万円	15億4,775万円
	(2) 下水道事業特別会計	6億1,748万円	6億1,383万円	5億9,477万円
	(3) 介護保険事業特別会計	9億2,238万円	9億2,912万円	8億9,755万円
	(4) 給食事業特別会計	9,157万円	8,818万円	8,795万円
	(5) 後期高齢者医療事業特別会計	1億5,999万円	1億5,447万円	1億5,175万円
計	34億4,901万円	34億5,860万円	32億7,977万円	
3 水道事業会計（公営企業会計）	3億9,546万円	2億9,050万円	3億5,567万円	
合計	89億1,111万円	88億3,386万円	85億2,153万円	

町債（町の借入金）年度末残高



平成26年度町税の内訳

